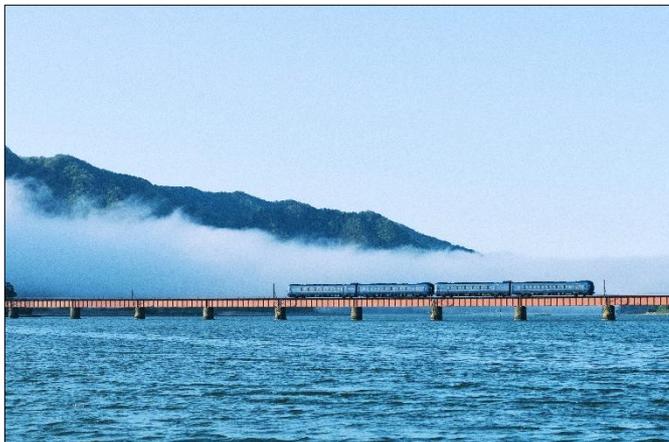


# 安全報告書 2024

---



京都丹後鉄道

WILLER  TRAINS

## I. ごあいさつ

平素は京都丹後鉄道をご利用いただき、誠に有難うございます。

当社は、輸送の安全を最優先事項に位置づけ、お客様に安心・信頼してご利用いただけるよう努めております。

2024年度は、上下分離方式による運行開始から10年目の節目の年であり、次の10年に向けた安心・安全な長期設備投資計画の策定に加え警察・消防と連携した訓練、鉄道施設改善、公的機関と連携した先進的な安全対策の実証実験等ハード・ソフト両面から安全性向上へ取り組んでまいりました。

とくに、2023年に宮舞線の下由里踏切で発生した踏切傷害事故を受け懸案事項となっていました警報機・遮断機の無い第4種踏切の安全対策につきましては、北近畿タンゴ鉄道株式会社・沿線自治体・警察、地域の皆様と協議を重ね、第4種踏切18ヶ所のうち、当該踏切を含めた4ヶ所の廃止、1ヶ所の第1種踏切への格上げを実施しました。

引き続き、社員に対する安全教育を徹底するとともに、北近畿タンゴ鉄道株式会社と連携した鉄道施設、車両等の更なる安全性の向上に取り組む皆さまに信頼される鉄道を目指してまいります。

本誌は、2024年度の当社における安全の取り組みをとりまとめた報告書です。ぜひご一読いただき、ご意見やご助言をいただければ幸いです。



WILLER TRAINS 株式会社  
代表取締役 飯島 徹

## II. 安全に関する基本方針と目標・重点実施施策

輸送の安全確保が最大の使命との意識を持ち、「安全方針」「行動規範」を掲げ、社長、役員及び社員一丸となり輸送の安全確保に取り組みます。

### 1. 安全方針

私たちは法令・規程を遵守し、輸送の安全を最優先するとともに、さらなる安全性の向上を目指して、継続的な改善に努め、安全で安定した輸送を提供し、お客様に安心・信頼される鉄道を築きあげます。

### 2. 行動規範

社長、役員及び社員の行動指針として「安全に係る行動規範」を定め、規範に基づき行動します。

- (1) 一致協力して輸送の安全確保に努めます。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともに、これを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- (4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
- (5) 事故、事故の恐れのある事態、災害その他輸送の安全確保に支障を及ぼす恐れのある事態が発生したときは、人命救助を最も優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとります。
- (6) 情報はもれなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

### 3. 2025年度 安全目標

安全方針に基づき具体的な安全目標を定め、各部門において事故等の発生「ゼロ」に取り組みます。

責任事故・インシデント「ゼロ」への挑戦

※当社の責任(ヒューマンエラー・設備保守・管理に起因する事象)による

鉄道運転事故・インシデント「ゼロ」への挑戦

### 4. 2025年度 重点実施施策

重点実施施策を掲げ、安全目標の達成に向けて取り組みます。

## 5. ハード面の取り組み

国、京都府、兵庫県、沿線自治体からの支援を得て、北近畿タンゴ鉄道株式会社が行う設備投資の設計及び施工管理等を受託して、施設・車両の整備や踏切事故防止対策として踏切保安設備の整備等を図り保安度向上・安全性の向上を図ります。

[設備投資]

設備	項目	具体的実施内容
線路設備	PC マクラギ化	宮津線 西舞鶴～四所間・網野～夕日ヶ浦木津温泉～小天橋間 コウノトリの郷～豊岡間 合計 1,078 本
	合成橋マクラギ化	宮津線 由里橋りょう・竹が鼻橋りょう・油江橋りょう・稲荷橋りょう・境目谷橋りょう・城ヶ谷橋りょう・栗田架道橋・中村橋りょう・高畑橋りょう・巫女川橋りょう・漁師橋りょう・中屋橋りょう・如願寺橋りょう・霞谷橋りょう・宮川橋りょう・東川橋りょう・谷川橋りょう・米川橋りょう 宮福線 第二和久川橋りょう 19橋りょう 合計263本
	踏切道改良	平田踏切(小天橋構内) 1踏切
	道床碎石化	宮津～天橋立間 26k363.8m～26k443.8m 80m 峰山～網野間 48k962.9m～48k993.6m 30.0m 小天橋～かぶと山間 67k174.5m～67k244.5m 70.0m 合計 180.0m
	鉄桁ペイント塗装 (フッ素塗装)	由良川橋りょう(丹後神崎～丹後由良間) 1 橋りょう
	橋りょうコンクリート補強	宮津線 第1奥橋りょう(網野～夕日ヶ浦木津温泉間) 上陰架道橋・豊岡橋りょう(コウノトリの郷～豊岡間) 宮福線 辛皮橋りょう(辛皮～大江山口内宮間) 合計 4橋りょう
	トンネル改良(セントル)	宮津線 楠弥寺トンネル(西舞鶴～四所間) 馬路トンネル(久美浜～コウノトリの郷間) 合計 2トンネル
	トンネル改良(覆工補強)	27k367.0m～28k109.5m 742.5m(宮津～天橋立間) 67k024.0m～67k215.1m 191.1m(小天橋～かぶと山間) 合計 933.6m
	排水設備改良	排水こう新設 40k013m～40k027m(与謝野～京丹後大宮間) 47k770m～47k864m・47k772m～47k859m(京丹後大宮～峰山間) 51k649m～51k687m・51k696.5m～51k772.5m(峰山～網野間) 排水柵新設 51k685m・51k719m・51k757m(峰山～網野間)
	踏切道改良(1種化)	宮津線 上油江踏切 (東雲～丹後神崎間) 1踏切
	レール交換	27k367.0m～28k109.5m 742.5m(宮津～天橋立間) 67k024.0m～67k215.1m 191.1m(小天橋～かぶと山間) 合計 933.6m
	ホームこう上	夕日ヶ浦木津温泉駅・豊岡駅 合計 2駅
	信号保安設備	連動装置(H・AC 軌道回路装置更新)
継電連動装置更新		宮津線 網野・久美浜駅 合計 2駅
踏切保安設備 警報機・蓄電池の更新		宮津線 四所～京丹後大宮 (警報機 10 組、蓄電池 80 個)
遠方信号機更新		宮津線 網野駅・久美浜駅 合計 2駅
踏切道改良(1種化)		宮津線 上油江踏切 (東雲～丹後神崎間) 1踏切
通信ケーブル更新		宮津線 与謝野～網野間 15,000m
電路設備	電柱(コンクリート柱化)	宮津線 四所～コウノトリの郷間 電灯木柱のコンクリート柱化 27本
	電気融雪器用絶縁変圧器更新	宮津線 四所～豊岡間
車両	車両設備	次期新造特急車両設備設計

## 6. ソフト面の取り組み

### 1. 安全意識・感度の更なる向上

⇒【状態目標】 ルールや仕組みの構築、組織として安全最優先の考動を実践している。

### 2. 知識・技能の向上

⇒【状態目標】 安全、安定輸送を実現するために、日々の業務を着実に実行するとともに、異常時に対する仕組みの見直しや対応力の向上を継続している。

### 3. 鉄道施設・車両の確実な保守・管理の徹底

⇒【状態目標】 設備の継続的な維持、改善の重要性を理解し、効果的なハード対策を策定、実施することにより、重大事故の未然防止を実現している。

### 4. 労働災害防止の意識向上

⇒【状態目標】 社員の安全感覚・安全意識の向上でリスク対応ができています。

## Ⅲ. 2024年度 運転事故等の発生状況

### 1. 鉄道運転事故

令和6年8月21日、天橋立駅構内の桜山踏切(第1種)において、踏切障害事故が発生しました。

### 2. 輸送障害(旅客列車の30分以上の遅延・運休)

48件発生しました。うち、自然災害等による事象は21件、鉄道外の原因(JR線内遅れに伴う遅発等)による事象が20件、人的要素が原因となる事象が1件、設備関連故障の部内原因となる事象が6件発生しました。ご利用のお客様はじめ、沿線の皆様には大変ご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。

### 3. インシデント

発生はありません。

### 4. 行政指導等

行政指導等はありません。

# IV. 2024年度「安全確保の取り組み」

令和6年度はハード面の対策を実施し設備の新設・更新をしました。また、ソフト面においては、下記5項目を中心に取り組みました。

- (1) 安全文化の構築
- (2) 運転関係係員の知識・技能の向上
- (3) 鉄道施設・車両の確実な保守・管理の徹底
- (4) さらなる安全性向上の追及
- (5) 労働災害防止の意識の向上

## 1. ハード面の取り組み状況

国、行政、自治体からの支援等による設備の更新、並びに確実な検査・修繕を行い安全性の向上に努めたほか、JR 東海旅客鉄道株式会社から譲渡を受けたキハ85車両は3月16日ダイヤ改正から線内特急車両 KTR8500形として運用し、利便性の向上を図りました。

### [設備投資]

設備	項目	具体的実施内容
線路設備	PC マクラギ化	宮津線 岩滝口～与謝野・峰山～網野～夕日ヶ浦木津温泉 久美浜～コウノトリの郷間 合計 1488 本
	合成橋マクラギ化	宮津線 大膳豪橋りょう・第一五十河川橋りょう・鯨橋りょう・鱒留川橋りょう・荒山橋りょう・第二生野内橋りょう・目切谷川橋りょう・公庄谷川橋りょう・森の下橋りょう・福田川橋りょう・岡田川橋りょう・佐野谷川ひいつ橋りょう・湊街道橋りょう・第一鹿野橋りょう・甲山開渠・第二甲山ひいつ橋りょう・川崎川橋りょう・奥馬路谷川橋りょう・馬路谷川橋りょう・東畑橋りょう 合計 384本
	踏切道改良	栗田踏切(栗田～宮津間)・郡是踏切(宮津駅構内)・中ノ丁踏切(宮津駅構内2箇所) 西踏切(岩滝口～与謝野間) 第一赤坂踏切 (峰山～網野間) 合計 6踏切
	道床碎石化	西舞鶴～四所間 4k205m～4k456m 251.0m
	鉄桁ペイント塗装 (フッ素塗装)	宮津線 背戸橋りょう・高野川橋りょう・第二下東橋りょう・第三下東橋りょう近道架道橋・第一水間橋りょう・第二水間橋りょう・中坪橋りょう・竹ヶ鼻橋りょう・野田橋りょう・油江橋りょう・奈具橋りょう・稲荷橋りょう・境目谷橋りょう・城ヶ谷橋りょう・栗田橋りょう・奥山川橋りょう・中村橋りょう・高畑橋りょう・巫女川橋りょう・大膳豪橋りょう・狹師橋りょう・中屋橋りょう・京口橋りょう・如願寺橋りょう・山王橋りょう・時雨橋りょう・霞谷橋りょう・金得橋りょう・宮川橋りょう・竹内橋りょう・ 第一五十河川橋りょう 合計 32橋りょう
	鉄桁ペイント塗装(フッ素塗装)	由良川橋りょう(丹後神崎～丹後由良間) 1橋りょう
	橋りょうコンクリート補強	楠谷川橋りょう(公庄～下天津間) 1橋りょう
	トンネル改良	宮津線 楠弥寺トンネル(西舞鶴～四所間) 1トンネル
	トンネル改良(剥落防止対策)	宮福線 千石山トンネル(公庄～下天津間)・狭間トンネル(牧～荒河かしの木台間) 2トンネル
	トンネル補強(漏水対策工)	宮津線 馬路トンネル(久美浜～コウノトリの郷間) 1トンネル
	法面固定	与謝野～京丹後大宮間 37k800m・網野～夕日ヶ浦木津温泉間 58k900m 合計 2箇所
	踏切道改良(1種化)	宮津線 姫御前踏切 (京丹後大宮～峰山間) 1踏切
	レール交換	西舞鶴～四所間 2k787m～3k891.6m 峰山～網野間 51k234.2m～51k815.5m 久美浜～コウノトリの郷間 76k242.0m～76k945.0m 合計 2,367m
	分岐マクラギ(合成化)	四所駅・東雲駅・丹後由良駅・栗田駅・久美浜駅 合計 5駅(12P・296 本)
信号保安設備	踏切保安設備(警報機・遮断機他の更新)新 C5:C1C5:C22	長岡踏切(京丹後大宮～峰山間) 警報機 2 基、遮断機4基他更新、踏切器具箱等
	連動装置(H・AC 軌道回路装置更新)	宮津駅・宮村駅・大江山口内宮駅・大江駅・牧駅・荒河かしの木台駅 合計 6駅
	連動装置(電気転てつ機更新)	宮福線 宮村駅・大江駅・牧駅 合計 3駅
	通信ケーブル更新	宮福線 宮津～大江間 19,600m
	踏切しゃ断機更新	宮津線 西舞鶴～久美浜間 26 台
	CTC 装置・PRC 装置更新	宮津駅 宮津指令 1式
	踏切改良(1種化)	宮津線 姫御前踏切 (京丹後大宮～峰山間) 1踏切
発動発電機更新	宮津駅・宮村駅・大江山口内宮駅・大江駅・牧駅・荒河かしの木台駅 合計 6駅6基	
電路設備	電柱(コンクリート柱化)	宮津線 丹後由良～かぶと山間 通信用木柱のコンクリート柱化 24 本
	電車線トンネル支持がいし更新	宮福線 普甲トンネル(喜多～辛皮間) 650 個
車両	車両設備	普通用エンジン 1基・普通用変速機 2基

施行前

施行後

○合成橋マクラギ化 <鱒留川ひいつ橋りょう>



○合成分岐マクラギ化 <久美浜駅構内>



○橋りょう塗装(フッ素塗装) <第一五十河川橋りょう>



○トンネル補強 <宮福線 千石山トンネル>



○法面固定 <網野~夕日ヶ浦木津温泉間>



施行前

施行後

○電気転てつ機更新



○踏切保安設備更新 <宮津線 姫御前踏切第1種化>



○電車線トンネル支持がいし更新



○発動発電機更新 <宮福線 宮村駅>



## 2. 運転の安全を前進させる取り組み状況

### (1) 第4種・第3種踏切に対する安全性向上の取り組み

令和5年4月10日に発生した下由利踏切障害事故を受けて、京都府、沿線市町、北近畿タンゴ鉄道株式会社、WILLER TRAINS 株式会社等が連携し、「京都丹鉄道 踏切対策協議会」を約3か月ごとに開催しています。この協議会では第4種踏切や第3種踏切の第1種化(安全性向上の為の改良)や廃止に向けた議論が進められています。

令和6年度成果としては、第4種踏切を4箇所廃止、1箇所を第1種踏切に格上げし、地域住民や鉄道利用者の安全性向上を図りました。この取り組みを引き続き進め、交通事故防止や安全な鉄道運行を目指した改善を継続していきます。

踏切名	閉鎖日	廃止日	第1種踏切使用開始日
霞谷踏切(宮津市)	令和6年7月29日	令和6年9月19日	
金得踏切(宮津市)	令和6年7月29日	令和6年9月20日	
下由利踏切(舞鶴市)	令和6年12月26日	令和7年1月25日	
余部踏切(京丹後市)	令和6年12月26日	令和7年2月18日	
姫御前踏切(京丹後市)			令和7年2月28日



廃止後 下由利踏切



廃止後 余部踏切



### (2) 第4種踏切支援装置に関する取り組み

交通安全環境研究所 交通システム研究部と連携した第4種踏切における安全性向上を目的とした支援装置の試験とその概要について

背景: 第4種踏切では警報機や遮断機が設置されていない為、列車と通行者の接触事故のリスクが高い。

目的: 第4種踏切の廃止または第1種踏切化が進むまでの暫定的な対策として、支援装置の導入を目的とした試験を実施した。

#### ① 第4種踏切支援装置の特徴

- ・双方向無線通信の活用 / 列車接近を通行者に報知、装置の故障を列車運転士に通知
- ・低コストでの実現 / 従来の踏切保安装置よりも経済的負担が軽い設計

#### ② これまでの試験概要

##### ◆通信実験 / 令和5年7月18日～20日

- ・場所 / 峰山～網野間
- ・内容 / 車上・地上間の双方向無線通信機能の有効性を確認
- ・成果 / 通行者への列車接近の報知方法を検討、列車運転士への通知方法を検討、視覚による報知方法のプロトタイプを製作

##### ◆動作確認試験 / 令和7年1月28日～31日

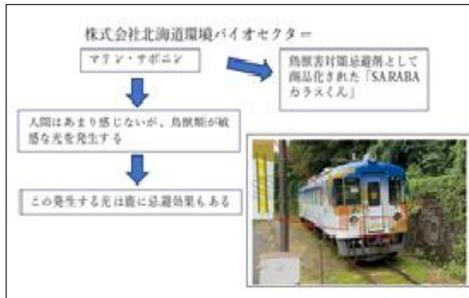
- ・場所 / 丹後由良～栗田間
- ・内容 / 報知・通知方法を組み込んだ第4種踏切支援装置の動作確認試験、機能校正を行い、実用化に向けた検証を進める



(3) 鉄道車両に対する動物の行動調査

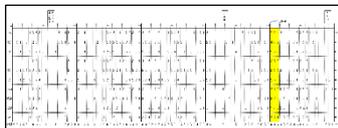
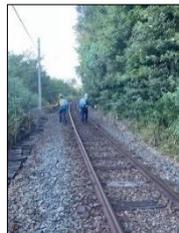
京都丹後鉄道では、年間 500 件を超える鹿による線路侵入や動物衝突事象を抑制するため、科学的なアプローチを採用しています。具体的には、ヒトデ由来の「マリン・サポニン」を含むテープを車両に貼り付け、その効果を調査しています。また、映像記録装置を用いて車両の進行方向および後方の映像を記録し、鹿の線路進入行動を詳細に観察・分析しています。この取り組みにより、マリン・サポニンの有効性や動物の行動パターンに関する貴重な知見が得られることが期待されています。

これらの調査結果を活用することで、鉄道業界全体における動物衝突事象の減少に貢献する可能性が探られています。



(4) ハバネロ忌避剤散布実証実験

- ① 実験時期 令和6年8月1日～令和7年3月31日
- ② 実験範囲 宮豊線 小天橋～かぶと山間 68k000m～68k300m
- ③ 実験方法 ハバネロシールド散布 ⇒ 1ヶ月間隔 4回散布 動物が出没する線路際の草木、法面等



(5) 災害支障対策として夜間に運転速度を落とす実証実験

列車が鹿などの動物と衝突する事象への対策として、最高速度 65km/h 以下の R300 の連続区間および動物との衝突件数が多い区間を 3 箇所指定し、19:00 以降に運行する全ての列車に対して最高速度 45km/h 以下で運転する実証実験を実施しています。この取り組みにより、動物との衝突件数の削減を目指します。

- ① 実験期間 令和6年10月1日～令和7年3月31日・令和7年4月1日～令和7年9月30日(継続中)
- ② 区 間

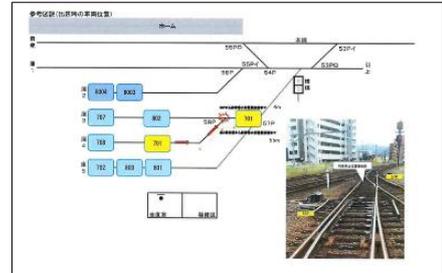
区 間	キ ロ 程	区間長	所定の 65km/h 以下での運転を、45km/h 以下に速度を制限した場合の増延時間
丹後由良駅～栗田駅間 (権太山トンネル～国道高架下)	16k831m～19k000m	2k169m	下り:1分30秒増延 上り:1分15秒増延
与謝野駅～京丹後大宮駅間 (三戸谷橋りょう～第一高砂踏切)	37k446m～40k995m	3k549m	下り:1分45秒増延 上り:2分00秒増延
かぶと山駅～久美浜駅間 (かぶと山駅ホーム～第二東山トンネル)	令和7年3月14日まで 69k800m～70k964m	1k164m	下り:0分30秒増延 上り:0分45秒増延
網野駅～夕日ヶ浦木津駅間 (雪覆い～第二岡田踏切)	令和7年3月15日から 58k133m～59k940m	1k807m	下り:2分30秒増延 上り:2分30秒増延

- ③ 対象列車 19:00以降に上記区間を運転する最終列車までの上り8本、下り8本
- ④ 運転時分 1区間最大で2分30秒の遅運転が発生
- ⑤ 実績

区 間	件 数			
	実証実験前		実証実験後	
	R6/4月~R6/9月	1カ月当たり	R6/10月~R7/2月	1カ月当たり
丹後由良駅~栗田駅間	9件	1.5件	4件	0.8件
与謝野駅~京丹後大宮駅間	17件	2.8件	3件	0.6件
かぶと山駅~久美浜駅間	7件	1.2件	4件	0.8件

(6)位置検知の実証実験

背景:令和6年3月19日、操車担当は325D列車充当車両を4番線在線のところ「3番線から引上げ線」の通告を行い、信号係も誤りに気付かずその通り信号テコを扱った。線標に3→Eの表示がされ操車と運転士が打合せを行い起動を開始した。その後、運転士が異線に気付いて非常ブレーキを扱うも車両はポイント上で停車する事象が発生。

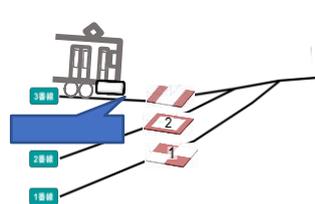
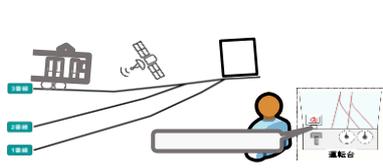


京三製作所 R&D センターによる磁気マーカ及び GNSS(測位衛星システム) による位置検知の実証実験

- ① 実験期間 第1回 令和6年6月24日 / 第2回 令和6年10月15日~17日
- ② 実験内容
  - ◆西舞鶴運転所構内の各番線に対応した判定エリア内に車両に搭載した GNSS の緯度経度が含まれるかどうかによって判定
  - ◆各番線に固有の磁化パターンを持つ磁気マーカを配置し、車両に搭載した磁気センサで番線を判定 ※軌道状態監視の実現と保守メンテナンス作業の負担低減を目的とした動揺測定装置(車両の位置と速度、車両動揺を捉えることができるため運転支援等にも活用)

GNSS の活用

磁気マーカによる番線判定



3. 運転の安全確保

(1) 令和6年度雪害対応

今年は3回強い寒波が襲来し、令和7年2月8日は大雪により始発から計画運転休止を実施しました。公共交通としての使命を果たす思いから、社員一丸となり万全の態勢で、安全確保(モーターカーロータリー車による除雪及び、ホーム、ポイント除雪)に取組み、午後から全線で運転再開しました。

計画運休は、お客様の安全確保が困難(運行中の列車が、駅間で停車等、重大な輸送障害を発生させて、お客様の安全を脅かす事象を防ぐ)であると判断した時は、京都丹後鉄道の安全を守るための重大な決断(計画運休)にご理解をお願いします。



## (2)安全確保に向けた啓発活動(踏切事故防止キャンペーン)

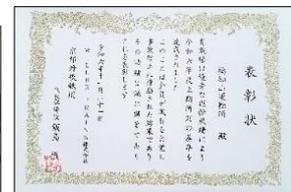
踏切事故防止キャンペーン期間中の令和6年11月1日に中ノ町踏切で、事故防止の啓発活動を行いました。



## 4. 安全確保の推奨事例

### ○運転無事故優良職場表彰式 令和6年11月21日

令和6年度上期の無事故優良職場の表彰式を行いました。今回は福知山運転所・検修区・宮津管理駅・工務部の4箇所が受賞しました。



○事故、災害等を未然に防ぎ、又は異常に際し適切に対応し、被害を最小限にとどめるなど、特に功労のあった社員に対して表彰を行いました。令和6年度は検修区社員1名が本部長表彰を受賞しました。

令和6年12月6日、KTR8011・8012の月検査において、ブレーキ部品の不具合を早期に発見することで、事故の発生を未然に防止しました。



## 5. ソフト面の取り組み状況

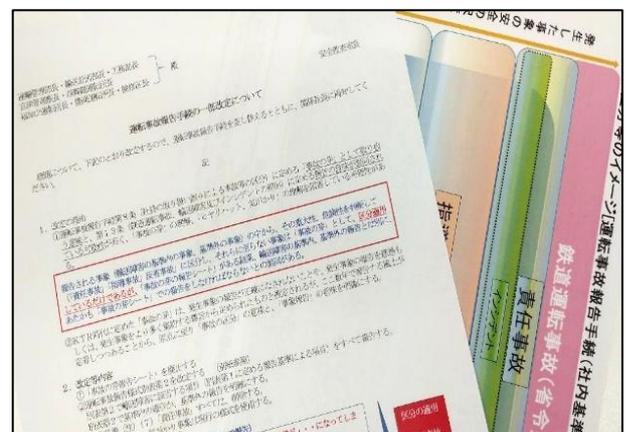
### (1)安全文化の構築

#### ① 報告の重要性の浸透と正確な報告の徹底

- ・報告することの定着化が深度化されていますが、更なる正確性をもって報告できるように推進しました。さらに、報告を全系統にメール等で配信、共有し、迅速な対応ができるように努めています。
- ・ヒヤリハット、気がかり事象については報告しやすい工夫と、ヒヤリハット、気がかり事象の報告で、リスク予知、安全意識の向上につながることを取組を継続しています。

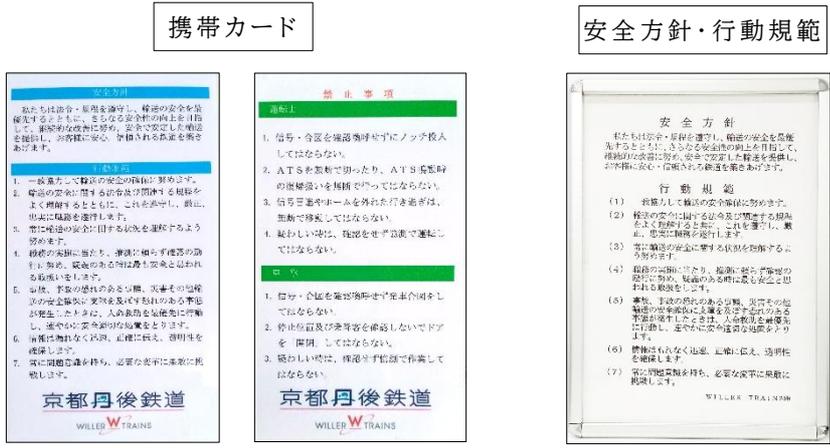
#### ② 発生事象の共有化と対策の検討周知

- ・安全対策委員会が形骸化することなく、過去の対策も検証しつつ、過去対策の確認と愚直に継続ができるように努めています。



(2)安全意識の向上

○安全方針、行動規範及び各系統の禁止事項を記載したカードを作成、社員一人ひとりに配布、常に携帯するとともに、本社や現場事務所に掲出し、点呼等で唱和、知悉度テストで確認するなど、安全意識の向上に努めています。



○本社、現場とのコミュニケーションとして「安全の日(毎月14日)に本社幹部社員による職場巡回・意見交換等を継続し、安全管理等の把握に努めています。

[主な取組内容]  
・「安全の日」看板掲出



安全の日

- ・本社幹部と現場社員の意見交換会
- ・列車添乗、現場巡回、作業立会
- ・本社、現場の情報の共有化等
- ・職場の環境整備、整理整頓、点検等



○夏期事故防止強化運動期間・年末年始輸送安全総点検期間には、経営トップと安全統括責任者による現場巡回を実施し、社員への訓示及び意見交換を行っています。





○気動車基礎教育・車両分併訓練 令和6年10月28日・31日 教育人員9名



○冬期除雪教育 令和6年12月2日・3日 教育人員29名



【運転士・車掌】

- ① 年間12時間以上
- ② 運転士訓練(異常時の取扱、鉄道人身事故対処方、気象異常時の取扱、知悉度テスト等)
- ③ 車掌訓練(異常時の取扱、鉄道人身事故対処方、サービス機器異常時の取扱、知悉度テスト)

【検修関係】

- ① 触車事故防止要領、MF・KTR車全般検査・要部検査教育実習、知悉度テスト等
- ② 操車担当、信号担当に対して「入換に関する規程等」教育、知悉度テスト実施

【工務関係】

- ① 全作業者への教育:年1回4時間以上
- ② 運転関係規程、災害警備マニュアル、触車事故防止、列車防護線路災害等の応急復旧、安全作業、知悉度テスト等
- ③ 新任社員教育(運転関係規程、災害時等の運転規制、ダイヤの勉強、触車事故防止要領、列車防護、知悉度テスト、線路閉鎖工事、トロリー使用、保守用車取扱等)
- ④ 感電事故防止、除雪作業等教育

○レール切断機・穿孔機取扱訓練 令和6年8月1日 教育人員2名



○令和6年度 3年次土木技術者講座 令和6年9月2日～6日 教育人員2名



○保守用車監督教育 令和6年9月10日 教育人員1名



○モーターカーロータリー取扱訓練 令和6年11月12日 教育人数22名



○愛知環状鉄道株式会社視察・意見交換 令和7年3月1日 参加人数3名



○応急処置器取扱訓練 令和7年3月5日 教育人数1名



○転てつ機操作・踏切操作・列車防護訓練 令和7年3月25日 教育人数9名



(5)異常時対応訓練等の実施

各現場の異常時対応能力の向上を目的とした異常時訓練は、駅指令員については実設訓練で実施。また検修・工務系統においても経験の浅い社員を対象に応急復旧訓練をおこなっています。今後とも、各系統において技術力向上のために工夫をした訓練の実施を継続します。一方、当社が主体となり、系統をまたがる訓練、警察等と連携した緊急時対応訓練を実施しました。

○エレベーター閉じ込め救出訓練 令和6年5月29日・30日 参加者20名



### ○列車内急病人発生時における合同救急訓練

列車内で急病人が発生した際、各機関への的確な通報・伝達、迅速な救命措置対応の向上及び連携強化を図ることを目的とした合同訓練を実施しました。

- ① 実施日 令和6年7月3日 15:15～
- ② 実施場所 臨時列車回9421D 列車内 喜多～宮村駅間走行中・宮津駅1番線ホーム
- ③ 訓練想定 走行中の回9421D 車内で急病人が発生し、救護・心肺蘇生措置及び正確な情報伝達を行う
- ④ 参加者 WILLER TRAINS 15名 宮津与謝消防署 6名 宮津警察署 7名



### ○福知山駅合同消防訓練 令和6年9月18日 参加者 WILLER TRAINS 4名

福知山駅構内において、JR 西日本、WILLER TRAINS 他5団体約30名による火災を想定した防災訓練が実施されました。



### ○鉄道事故合同訓練

宮津線 久美浜駅構内 向町踏切において、下り列車が踏切内に無謀進入した自動車と衝撃し、乗客に負傷者が出ており、踏切に損傷が発生しているという想定で、鉄道会社や関係機関が迅速かつ的確に対応する目的で訓練を実施しました。

- ① 実施日 令和6年11月28日 10:40～12:45
- ② 実施場所 久美浜駅構内
- ③ 訓練目的 ・人命救助の向上 ・事故の被害を最小限に抑える ・関係機関の連携強化 ・技術と知識の向上 ・事故防止の意識向上 ・緊急時対応計画の検証と改善
- ④ 参加者 京丹後市消防本部 18名 京丹後警察署 7名 京丹後市 2名 北近畿タンゴ鉄道 1名 WILLER TRAINS 35名





○部外教育機関の積極的な活用

各系統において若手社員、経験の浅い社員並びに中堅社員に対する教育について、部外の専門的な教育を受講することで知識・技能の向上をはかっています。

項目		安全管理系統		運輸系統	施設系統	電気系統	車両系統	計
令和5年度	受講講座数			5	6	8	1	20
	受講人員			19	16	8	1	44
令和6年度	受講講座数	対面	web	5	4	4	0	23
		4	6					
	受講人員	16	45	10	9	4	0	84

○資格者の育成

継続的かつ安定的に業務を遂行していくために、各系統においては業務に必要な資格取得を継続するとともに、世代交代に向けて運転士養成等を行いました。

項目	運転士(DC)	運転士(EC)	車掌	指令員	信号係員	計
令和5年度	0	2	4	1	0	7
令和6年度	1	0	2	0	0	3

※その他資格者教育

・小型移動式クレーン講習 1名 ・床上式操作クレーン講習 2名 ・玉掛講習 3名 ・ガス溶接 2名

【乗務員養成】

○車掌養成教育

・令和6年6月10日～7月31日 教育人員 2名



○DC運転士養成教育

・令和6年6月27日～11月22日 教育人員 1名



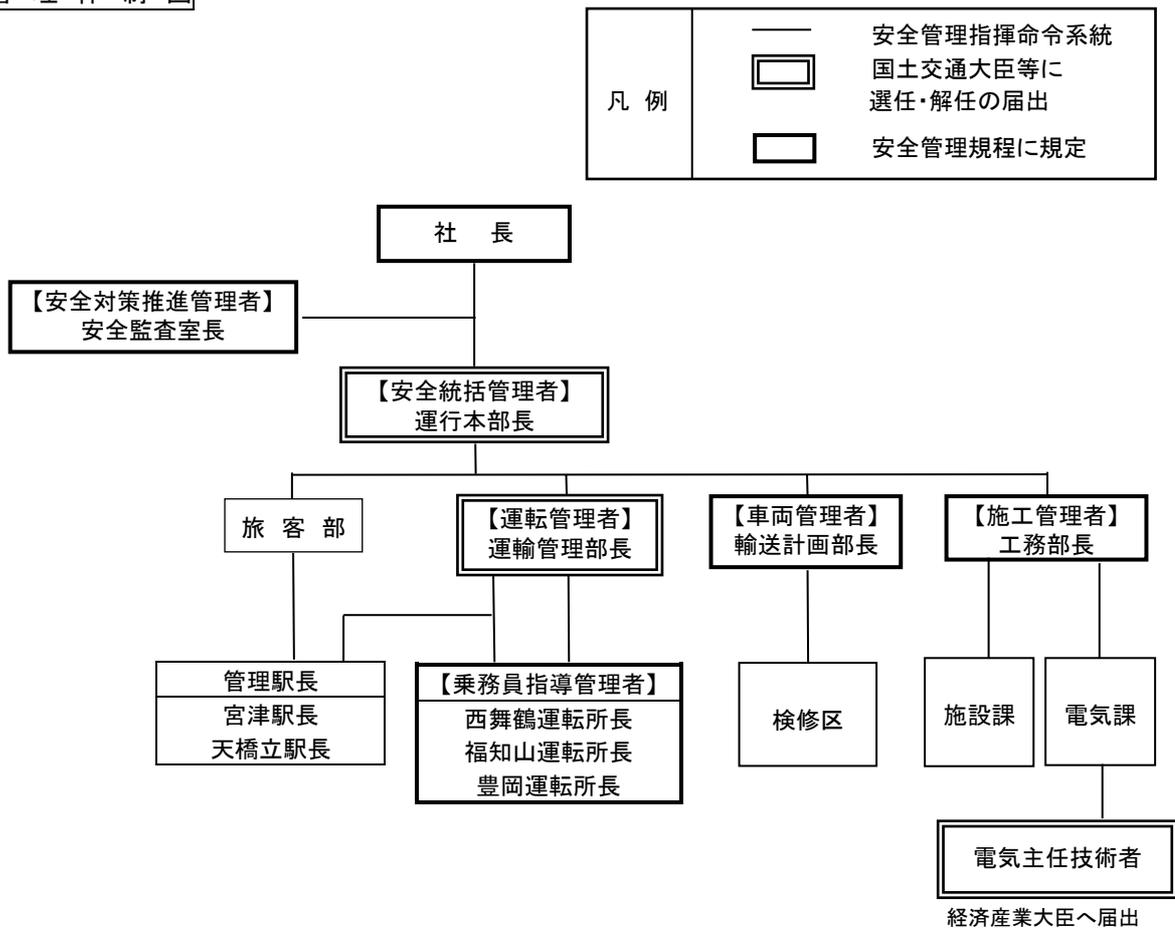
# V. 安全管理体制整備等、安全の取り組み

## 1. 安全管理体制

○安全管理規程を制定し、社長をトップとする安全管理体制を構築しています。安全統括管理者、運転管理者、車両管理者、施工管理者、乗務員指導管理者を選任し、その責務を明確にしています。

役職	役割
社長	輸送の安全の確保に関する最終責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する。
運転管理者	安全統括管理者の指揮のもと、列車の運行管理、乗務員の育成及び資質の維持その他運転に関する業務を管理する。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮のもと、乗務員の資質の維持を管理する。
施工管理者	安全統括管理者の指揮のもと、鉄道施設を維持管理するため、施設業務を管理する。
車両管理者	安全統括管理者の指揮のもと、車両を維持管理するため、車両業務を管理する。
安全対策推進管理者	事故防止に関する事項、輸送の安全の確保に必要な設備投資、人事、財務に関する事項を統括する。

安全管理体制図

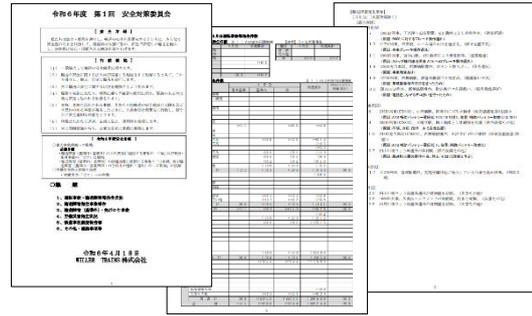


## 2. 安全に関する会議等

### ○安全対策委員会[毎月第3木曜日開催]

安全統括管理者を委員長として、各系統の責任者・現場長等が出席し、安全・輸送に関するデータをもとに、鉄道運転事故等の未然防止策、再発防止策等の安全対策について意見交換、情報の共有化等を図っています。

- ・出席者 社長、本社内各部長・関係課長、各現場長
- ・議題 運転事故等発生件数、発生内容  
発生事象の原因究明・対策の水平展開等  
「事故の芽」等其他事象の水平展開等  
労働災害発生状況  
運輸局等事故情報の水平展開(事例研究)



### ○安全対策会議[令和7年4月14日開催]

社長自らマネジメントレビューを実施し、安全管理規程に定める安全統括管理者、運転管理者、車両管理者、施工管理者、乗務員指導管理者、電気主任技術者等により、運転並びに労働災害事故の防止について協議し、更なる安全性の向上に努めています。

- ・開催日 毎年1回
- ・出席者 社長以下安全管理規程に定める管理者及び各現場長
- ・議題 前年度の輸送に関する目標・取り組み状況  
前年度安全管理体制に係わる内部監査結果等の確認  
次年度の目標・重点実施施策の決定等



### ○他会社(JR、協力会社等)の事故防止会議・合同会議等への参加

事故防止、安全対策等の情報の共有化等で連携を図り事故防止に努めています。

[管理駅] JR 西日本豊岡駅管区・WILLER TRAINS 宮津管理駅 意見交換会

開催日 令和6年5月24日

開催場所 WILLER TRAINS 天橋立駅

内容 インバウンド対応や連絡運輸に関わる課題についての意見交換



[車両] JR西日本近畿統括本部・WILLER TRAINS 合同脱線復旧訓練

開催日 令和6年6月17日

開催場所 JR 西日本福知山電車支所

訓練内容 新世代車両の台車緊縛方法の確認及び車体扛上手順を確認し、習熟度向上を図った

[電気] JR西日本近畿統括本部福知山電気技術センター・WILLER TRAINS 電気関係 合同事故防止会議

開催日 令和6年11月22日開催

議題等

- ①作業・事故時における連絡体制
- ②事故事例検討(力・信・通)
- ③協定等の一覧について
- ④保全・工事における会社間情報提供



### ○安全評価外部委員会

鉄道輸送や設備管理等について、安全対策の更なる充実のため、鉄道安全分野において高い技術力や見識を有する外部専門家により、ご指導・ご助言をいただく安全評価外部委員会は、今年度は10月及び3月に開催しました。

#### (1)委員会メンバーの方々

- |       |                             |         |
|-------|-----------------------------|---------|
| ① 委員長 | 東京工科大学 教授                   | 須田教授    |
| ② 委員  | 静岡英和学院大学短期大学部長              | 重森教授    |
|       | 京都大学名誉教授 防災研究所元所長           | 中川名誉教授  |
|       | 株式会社京三製作所 上席特別顧問 首席安全性評価監理官 | 水間工学博士  |
|       | 鉄道総合研究所 車両制御技術研究部           | 福田上席研究員 |

#### (2)令和6年度 第18回 安全評価外部委員会

- ① 開催日 令和6年10月3日
- ② 開催方法 Web会議
- ③ 概要
  - ・令和6年度運転事故等の発生状況(上期)
  - ・PCマクラギ化施工後の道床噴泥について
  - ・宮津線継電連動装置更新計画について
  - ・車両修繕の現状
  - ・令和7年度以降の設備投資計画について

#### (3)令和6年度 第19回 安全評価外部委員会

- ① 開催日 令和7年3月27日
- ② 開催方法 対面又はWeb 会議
- ③ 概要
  - ・令和6年度運転事故等の発生状況(年間)
  - ・設備修繕の現状について
  - ・電気関係設備故障の現状について
  - ・車両修繕の現状について

## 3. 内部監査

○安全管理体制の構築・改善における取組の適合性及び安全管理体制の有効性の確認を行うことにより、安全管理体制上の課題や問題点を見出すことを目的に、内部監査員が経営トップ、安全統括管理者及び各部門別(本社経営管理部門・現業実施部門)に監査を実施しています。

#### (1)内部監査の流れ

監査計画・監査チェックシート等作成 ⇒ 周知・配布・回答 ⇒ 現場・本社で監査実施(インタビュー、資料確認等)  
⇒ 部門別監査結果作成 ⇒ 各部門別報告書等送付 ⇒ 安全対策会議に付議・報告。

監査結果は是正・改善に努めるため、翌年度の重点実施施策への反映や監査の実施方改善に活かすほか、月実施の「安全の日」等を活用し確認するとともに、翌年度の監査においても確認し改善に努めています。

#### (2)監査項目

- ① 安全方針・行動規範の周知・実施状況の確認
- ② 安全重点施策の実施状況の確認
- ③ 教育訓練・研修計画などの確認
- ④ 法令等の遵守状況(未然防止のための予防措置の状況確認)
- ⑤ 情報伝達・コミュニケーションの確保
- ⑥ 事故・ヒヤリハット情報の収集及び活用
- ⑦ 規程・帳票類、運転関係用品の整備の確認
- ⑧ 過去の事故に対する対策の実施状況

#### (3)監査日時

令和6年12月23日～令和6年12月27日の間で実施しました。

#### 4. 気がり事象報告からの対策事例

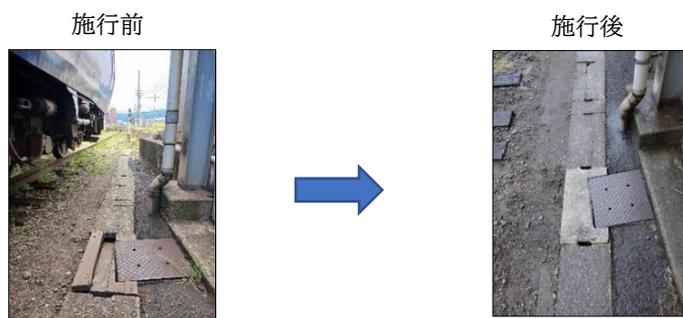
##### ○運転事故防止

気がり事象: 天橋立駅構内 文珠踏切及び駅付近からの一般公衆による線路内進入。  
⇒(対策) 令和6年9月4日 多国語の進入禁止看板を設置(5箇所)。



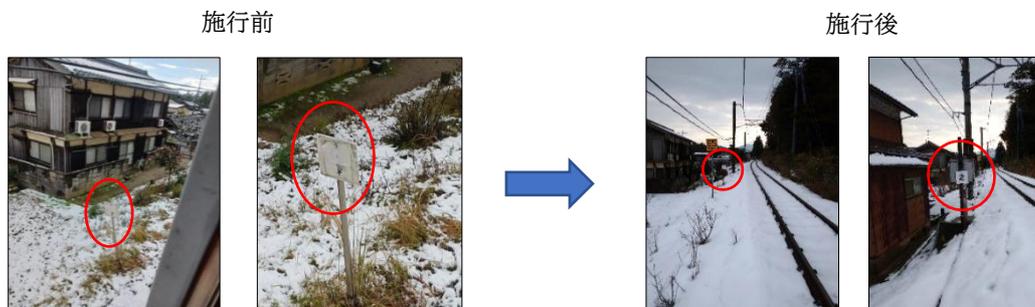
##### ○労働災害防止

気がり事象: 西舞鶴運転所庫1番線横の側溝蓋が破損し、転倒の虞がある。  
⇒(対策) 令和6年10月7日 コンクリート蓋を加工し設置。



##### ○設備劣化

気がり事象: 天橋立駅構内で列車の転線作業時の停止位置目標(2両標・4両標)が経年劣化により数字確認が困難。  
⇒(対策) 令和7年1月14日 2両標・4両標を交換。



#### 5. お客様・沿線の皆さま・関係機関との連携

##### ○地元保育所園児による花壇の植栽【与謝野駅】

地元保育所園児が与謝野駅の花壇にチューリップの球根を植え、その横に好きな花や名前の書いたプレートを其々立てて頂きました。また、春の花が咲く頃には見学に来て頂いています。

・令和6年 4月15日 参加人員 山田保育所20名、WILLER TRAINS 3名



○「ひまわりの絆プロジェクト」による花壇の植栽【栗田駅】

京都府宮津警察署が交通事故根絶の取り組みとして実施されている「ひまわりの絆プロジェクト」に弊社社員も参加し、地元幼稚園の園児や小学校児童とひまわりの苗を栗田駅の花壇に植えました。

・令和6年5月28日 参加人員 WILLER TRAINS 3名



○ブルーインパルス展示飛行 in 天橋立/宮津燈籠流し花火大会

7月21日に宮津市制施行70周年記念事業の一環として、ブルーインパルスの展示飛行が天橋立で開催され、8月16日には宮津線100周年記念事業の一環として宮津燈籠流し花火大会が開催され、当日は予想を上回る多くのお客様に丹鉄をご利用頂きました。



○駅清掃(夏季・冬季)

通常の清掃とは別に年2回、お盆と年末年始の繁忙期の前に、駅社員が中心となり全駅の大掃除を行いました。

・夏季:令和6年8月1・2・5日 参加人員11名

・冬季:令和6年12月11・12・15日 参加人員25名



○「鉄道関係近畿運輸局長表彰」受賞

令和6年10月15日令和6年度鉄道関係近畿運輸局長表彰式において、運転責任事故ゼロはもちろんのこと日々安全について真摯に取り組んできた行動が評価され、「運転無事故表彰」を受賞しました。



## 安全報告書へのご意見の募集

安全報告書の内容や弊社の取り組みについて、下記までご意見をお寄せください。

ご連絡先	本社 安全監査室	電話	0772-22-8571
		FAX	0772-25-2380
	メールアドレス		otoiawase@willer.co.jp
	受付時間		月～金 9:00～18:00(祝日を除く)